

「ぎふ農業・農村基本計画」の中間見直し骨子（案）概要

変更なし

変更なし

変更あり（朱書き）

主な取組み
見直し内容
(右記参照)

<主な見直し内容>

「清流の国ぎふ」の未来を支える農業・農村づくり
安全・安心で魅力あふれる「食」と「ふるさと」を目指して

基本方針と観測指標

(1) ぎふ農業・農村を支える人材育成
中心農業経営体数

(2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり
食料自給率
農業産出額

(3) ぎふ農畜水産物のブランド展開
農畜水産物の輸出額

(4) 地域資源を活かした農村づくり
耕地面積

重点施策

1 担い手の経営発展への支援強化	③④
2 産地の実状に応じた多様な担い手の育成・確保	③④
3 本格的な人口減少下でのスマート農業の全県展開	③④
4 農村を支える集落営農組織・活動組織の持続的な体制構築	④
1 地産地消県民運動の展開	①②③④
2 安心と信頼を届ける農畜水産物の生産展開	③
3 水田農業における安定供給体制の構築と新たな展開	③
4 家畜伝染病(CSF・ASFなど)に対応できる畜産産地づくり	③
5 県民の食を支える生産基盤の整備	③
6 食料安全保障の強化に資する生産・供給体制の構築	②④
7 岐阜県版「みどりの食料システム」の取組推進	①④
1 輸出拡大の強化	③④
2 大都市圏の需要喚起に向けた販売促進の強化	③④
3 飛騨牛をはじめとする売れる畜産物を支える体制強化	③
4 主要園芸産地の生産体制強化	③
5 新たな需要開拓による花き振興	③④
6 鮎を守り育てる体制の構築	③④
7 ブランド展開を支える新品目の創出と生産流通技術の開発	①
1 災害に強い農村づくり	④
2 農地の保全と生活環境の向上対策・鳥獣害対策	③
3 世界農業遺産「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承と持続的発展	④
4 棚田など地域の魅力を活かした農村の活性化	③④

重要テーマ
中山間地域を守り育てる対策

- ①「みどりの食料システム戦略」を踏まえた対応
 - 「社会情勢の変化と時代の潮流」及び「目指すべき将来像」に新規項目として追加等
 - 重点施策の新規項目として追加（具体的な施策は以下のとおり）
 - ・試験研究機関における技術開発など有機農業の推進、環境負荷低減事業活動（温室効果ガス排出削減含む）の促進
 - ・環境負荷低減生産物の流通・消費促進、フードバンクの活動支援
- ②国の食料安全保障対策の強化への対応
 - 「社会情勢の変化と時代の潮流」及び「目指すべき将来像」に新規項目として追加等
 - 重点施策を「食料安全保障の強化に資する生産・供給体制の構築」に変更し、物価高騰等への対応を追加（具体的な施策は以下のとおり）
 - ・低コスト生産体系への転換、自給飼料増産支援など、物価高騰対策を推進
 - ・持続可能性に配慮した消費行動の普及啓発、情報発信の強化
- ③アフターコロナを踏まえた対応
 - 重点施策の具体的な取組みとして、県DX推進計画を踏まえた、農業分野のDX推進に係る取組みを追加
 - ・農業DXプラットフォームの構築等のスマート農業への取組みを更に強化
 - ・担い手育成、流通販売、防災対策等、あらゆる分野でDXを推進
 - 重点施策の具体的な取組みとして、コロナ禍でのライフスタイルの変化等を踏まえた取組みを追加
 - ・ライフスタイルの変化を捉えたEC販売の促進
 - ・コロナで自粛した産地招へい活動の再開等
- ④新たな課題への対応
 - アクションプラン策定に伴う農福連携の取組みを強化
 - 「県水産計画」や「県スマート農業推進計画」など新たな方針の策定等を踏まえた対応
 - 検討会議での意見、市町村、JA、農業関係団体等の意見への対応

<目標指標の追加・修正>

- 重点施策の追加や、「ぎふ農福連携アクションプラン」の策定等を踏まえ、新たな目標指標を設定。
- 基本計画の進捗状況等を踏まえ、現在の目標指標の数値や項目を変更